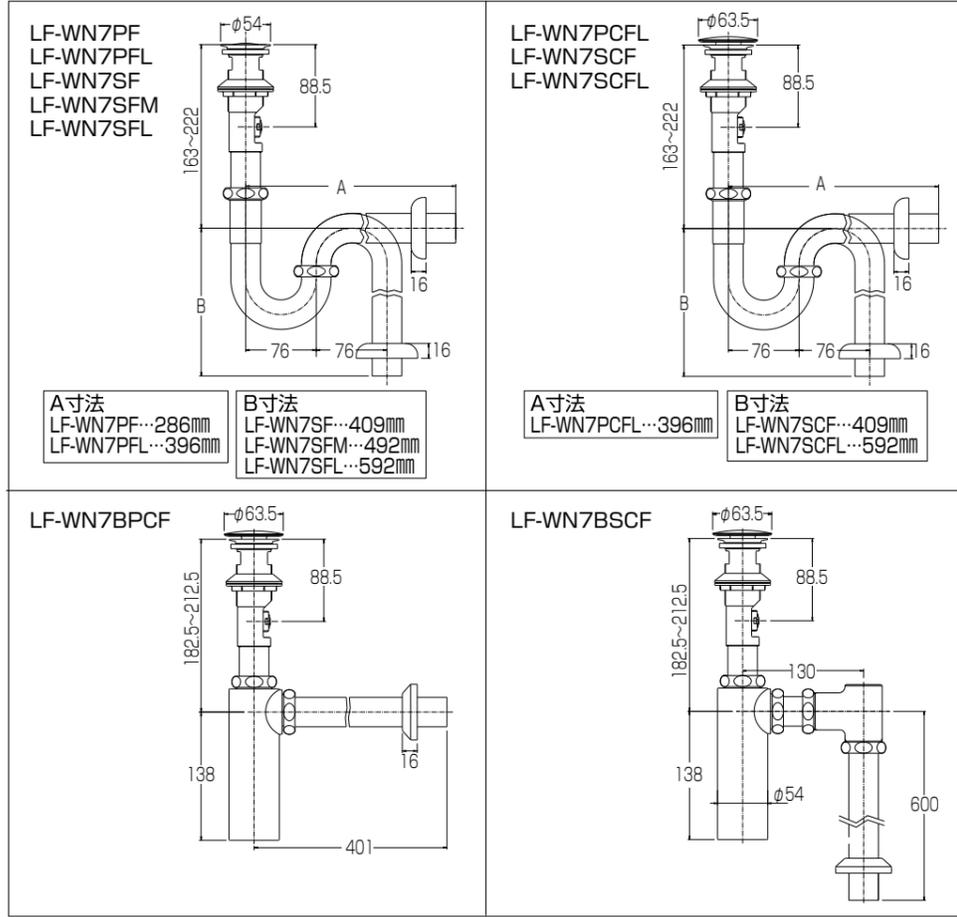


ポップアップ式排水金具

商品の機能が100%発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。
 なお施工完了後、この取付説明書をお客さまにお渡しください。

1. 商品図



2. 施工の前に

安全上のご注意

- 施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、正常に作動することを確認してください。お客さまに引き渡すときはこの取付説明書にそって使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- この取付説明書は、お客さまで保管頂くように依頼してください。

用語および記号の説明

- 注意** ... 「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物理的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」
- ⚠ ... 「注意しなさい!」(上記の『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。)
- ⊘ ... 「してはいけません!」(一般的な禁止記号です。)
- ⓘ ... 「指示通りにしなさい!」(一般的な行動指示記号です。)

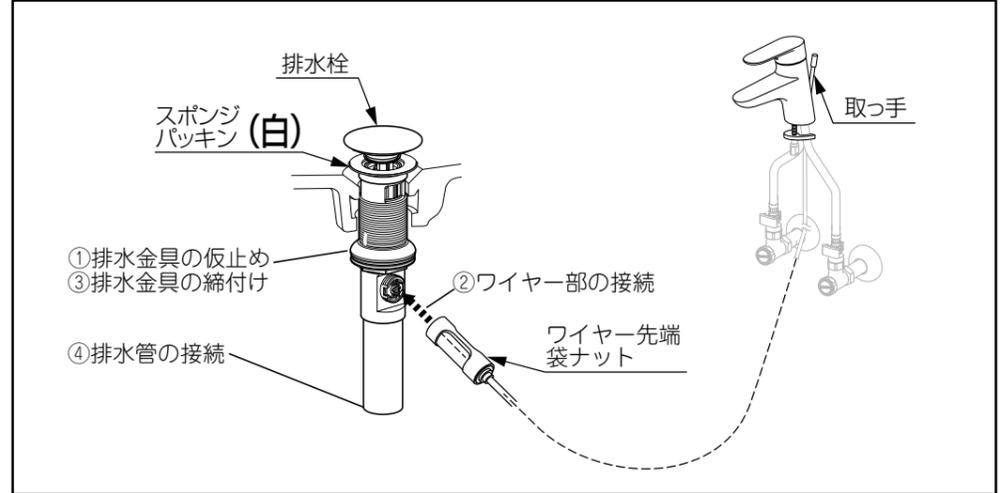
⚠ 注意

- ❗ (指示) 施工後に施工段階での破損がないことを確かめてください。
※破損部でケガをしたり、漏水により家財等を濡らす恐れがあります。
- ⊘ (禁止) 陶器に対するねじは締めすぎないようにしてください。
※陶器が割れてケガをする恐れがあります。
- ❗ (指示) 施工後に漏水検査を必ず行ってください。
※漏水により家財等を濡らす恐れがあります。
- ❗ (指示) メッキのハガレはそのまま放置しないでください。
※陶器が割れてケガをする恐れがあります。
- ⊘ (禁止) 水栓側のワイヤーを無理に折ったりしないでください。
最小曲げR(R>40)を確保してください。
※ワイヤーが折れて、排水栓が上下できなくなる恐れがあります。
- ⊘ (禁止) 排水栓が上がっている状態で、排水栓に衝撃を与えたり、無理に引っ張ったり、押し込んだりしないでください。
※部品が破損して、排水栓が上下できなくなる恐れがあります。
- ❗ (指示) 排水栓を上下する操作は、水栓後ろの取っ手で操作してください。
※無理に排水栓を操作すると故障の原因になります。

施工前のご注意

- 商品の表面には、直接工具を掛けないでください。工具を掛ける際には、必ず商品に布等をあてて保護してください。
- 同梱、取付けの際には、商品の表面にキズを付けないよう十分注意してください。

施工手順

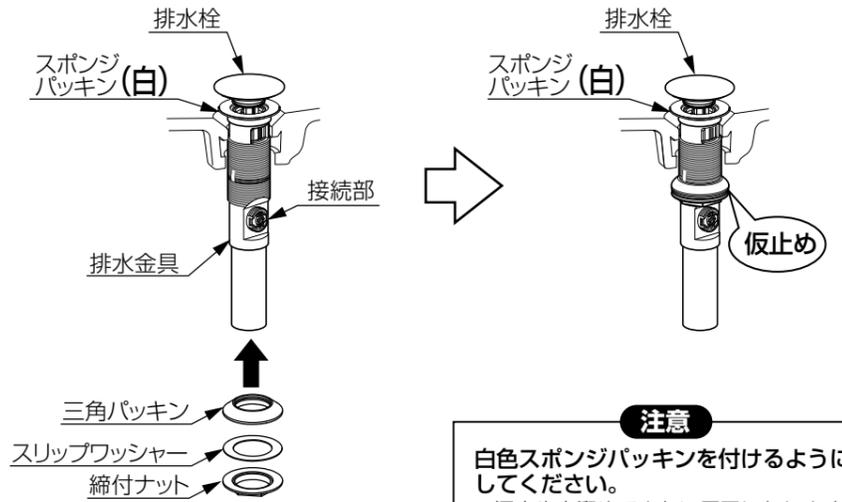


3. 施工方法

以下の手順通り、正しく取り付けてください。

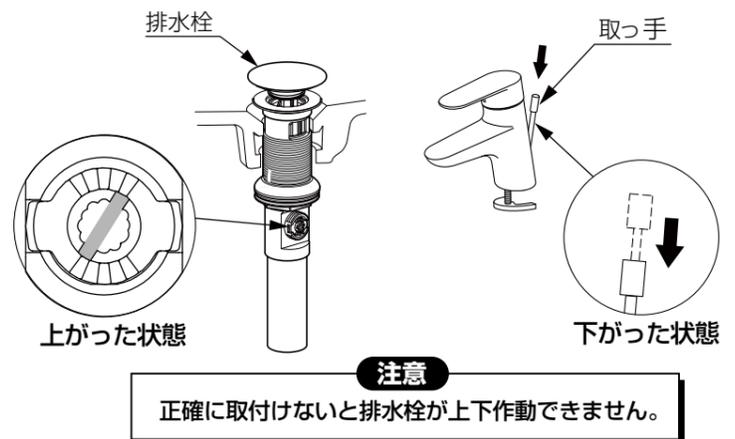
1. 排水金具の仮止め

1. 排水金具とスポンジパッキン(白)を上から排水口に差し込み、三角パッキンとスリップワッシャー、締付ナットを下から挿入して、ねじの一番下端に仮止めしてください。



2. 排水栓とワイヤー部の接続

1. 排水栓が上がっていることと水栓側の取っ手が下がっていることを確認してください。



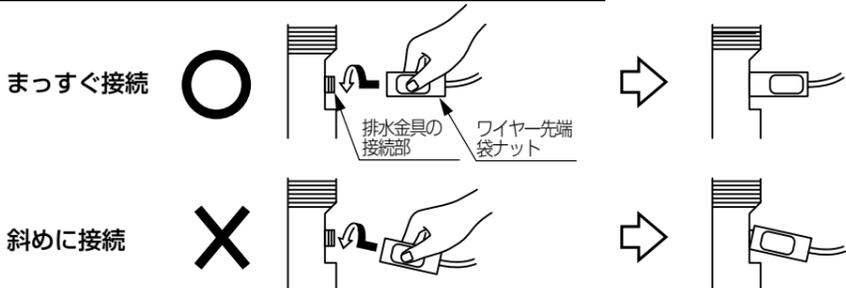
2. 排水金具の接続部を側面に向けて、排水金具の接続部に水栓側のワイヤー先端袋ナットを真っすぐ挿して、手で回らなくなるまで締め付けてください。(目安2回転)

注意

- ワイヤー先端の袋ナットに工具をかけないでください。
※破損する恐れがあります。
- ワイヤーを取付ける際に無理に折ったりしないでください。
最小曲げR(R>40)を確保してください。
※ワイヤーが折れて、排水栓が上下できなくなる恐れがあります。

ポイント

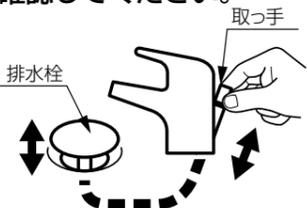
排水金具の接続部を側面に向けてと接続がしやすいです。



3. 袋ナット締め付け後に水栓側の取っ手を動かして排水栓が上下することを確認してください。

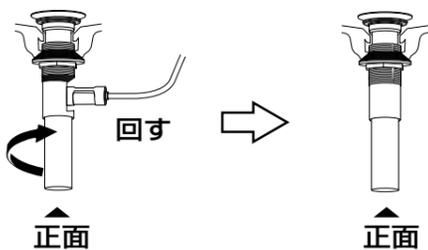
注意

取っ手が動かず排水栓が上下しない場合は、排水栓接続部からワイヤー先端袋ナットを外し、「6.故障かな?と思ったら」の「排水栓が上下できない」の項目を参考にやり直してください。



3. 排水金具の締め付け

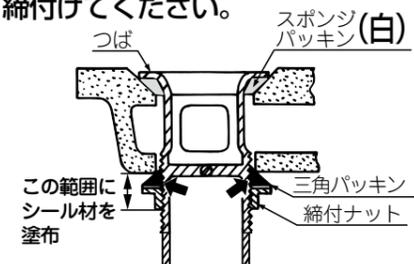
1. 排水金具とワイヤー接続完了後、排水栓上面に貼り付けられた正面シールが手前に向くように排水栓を回してください。(取付け後のイメージ：右図参照)



2. 排水口ねじ山にシリコンコーキング等を一周塗布してシールしてください。ねじ下端に仮止めした三角パッキン、スリップワッシャーを締めナットで締め付けてください。

注意

- ねじ山に水が伝わり漏水の原因になります。
- 締め付けナットを締め付けすぎないように注意してください。
※排水金具が変形し、漏水の原因になります。



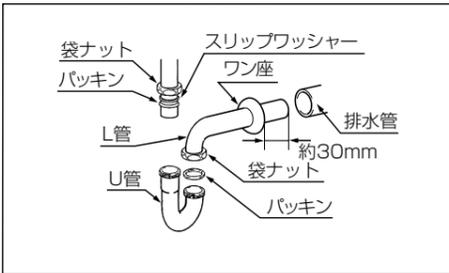
3. 最後に正面シールを剥がしてください。



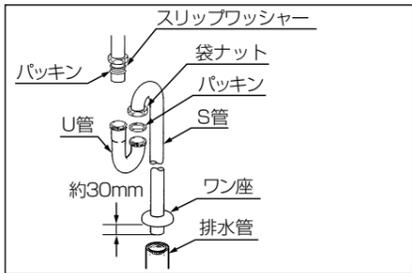
4. 排水管の接続

排水トラップを仮付けして、L管またはS管を排水管との差込みしろ約30mm残して切断してください。

[Pトラップの場合]



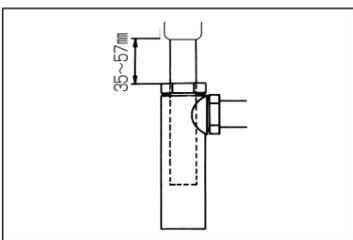
[Sトラップの場合]



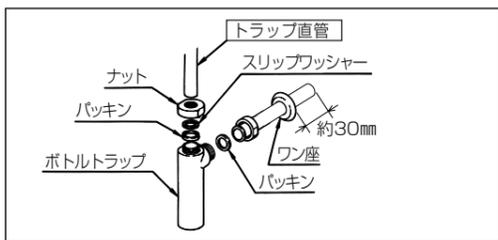
排水ボトルトラップの場合

- 排水管の接続を行ってください。
- ※差込みしろ約30mmを残して切断してください。
- ※トラップ直管は、絶対に切らないでください。
- ※下図の寸法は35~57mmになっていることを必ず確認してください。

[ボトルトラップ封水深の確認]

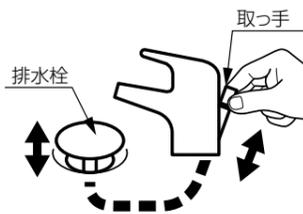


[ボトルトラップの取付け]



4. 使い方

水栓側の取っ手を引っ張ると排水栓が閉じ、取っ手を押しすと開きます。



注意

排水栓が上がった状態で衝撃を与えたり、無理に引っ張ったり、押し込んだりしないでください。
※部品が破損して、排水栓が上下できなくなる恐れがあります。

5. 清掃方法

排水栓が外せないタイプ

排水口等を清掃する際は、排水栓(排水口カバー付)を上を持ち上げて、清掃空間を確保します。

※排水栓(排水口カバー付)は約15mm程度持ち上げ出来ます。(外すことはできません)

注意

無理に外さないでください。
※無理に外そうとすると破損する恐れがあります。



排水栓が外せるタイプ

排水口等を清掃する際は、排水栓を外して掃除してください。

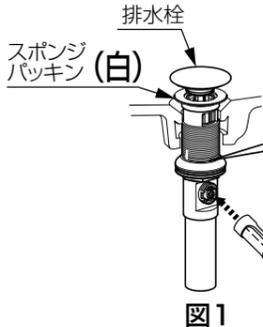
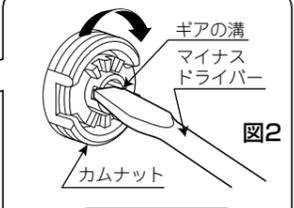
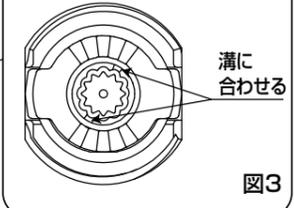
※終了後、排水口の上から排水栓を入れてください。

普段のお手入れは、次のことに注意してください。

- 軽い汚れの場合
水またはぬるま湯で湿らした布で、汚れをふきとってください。
- ひどい汚れの場合
食器洗い用中性洗剤を薄めて、含ませた布でふき、そのあとすぐ水洗いして、乾いた布でふきとってください。
※商品を傷める恐れがあります。
- 商品を傷める恐れのある以下のものは使用しないでください。
 - 磨き粉などの粒子の粗い洗剤
 - 酸性洗剤、塩素系漂白剤
 - ナイロンたわし、ブラシなど
 - シンナー、ベンジンなどの溶剤



6. 故障かな?と思ったら

現象	処置
排水栓を閉めても水溜めできない	排水金具のツバ下にスポンジパッキン(白色)が付いていることを確認してください。
排水栓が上下に動かない 排水栓が最後まで閉まらない	ワイヤー先端袋ナットの接続を以下の手順で確認してください。 (1)ワイヤー先端袋ナットを手で外してください。 (2)図2のようにマイナスドライバーでギアの溝に合わせ、時計回り方向に回らなくなるまで回してください。 ギアの溝は図3の位置となり、排水栓は上に上がります。    (3)施工説明書の②に従って、ワイヤー先端袋ナットを接続してください。

この説明書は、必ずお客さまにお渡しください。